

GUARDIANWALL

# 全文検索システム

---

## バージョンアップの手引き

# 目次

<b>Ver3.7.61へのアップデート時の注意点</b>	<b>4</b>
対応バージョンについて	4
システム構成について	4
管理サーバーライセンスの登録	5
<b>0 アップデートの前に</b>	<b>5</b>
<b>1 設定同期</b>	<b>6</b>
<b>2 ログイン</b>	<b>6</b>
<b>3 アップデート</b>	<b>7</b>
3-1 製品の選択	7
3-2 全文検索システムのインストールメニュー	8
3-3 インストール先ディレクトリ容量確認	8
3-4 インストール一時ディレクトリ容量確認	9
3-5 パッケージ確認	9
3-6 サービスの停止	10
3-7 パッケージの削除とインストール	10
3-8 サービスの起動	11
3-9 インストール完了	12
3-10 インストールメニューの終了	12
<b>4 動作確認</b>	<b>13</b>

MEMO

本マニュアルでは、GUARDIANWALL 全文検索システム（以下、全文検索システム）を Ver2.0以前から Ver3.7.61にアップデートする方法を説明します。全文検索システム Ver3.0 以上からのアップデートの場合は、『GUARDIANWALL全文検索システム 導入の手引き』をご覧ください。

## Ver3.7.61へのアップデート時の注意点 対応バージョンについて

全文検索システム Ver3.7.61 は、GUARDIANWALL Ver7.4 にのみ対応します。

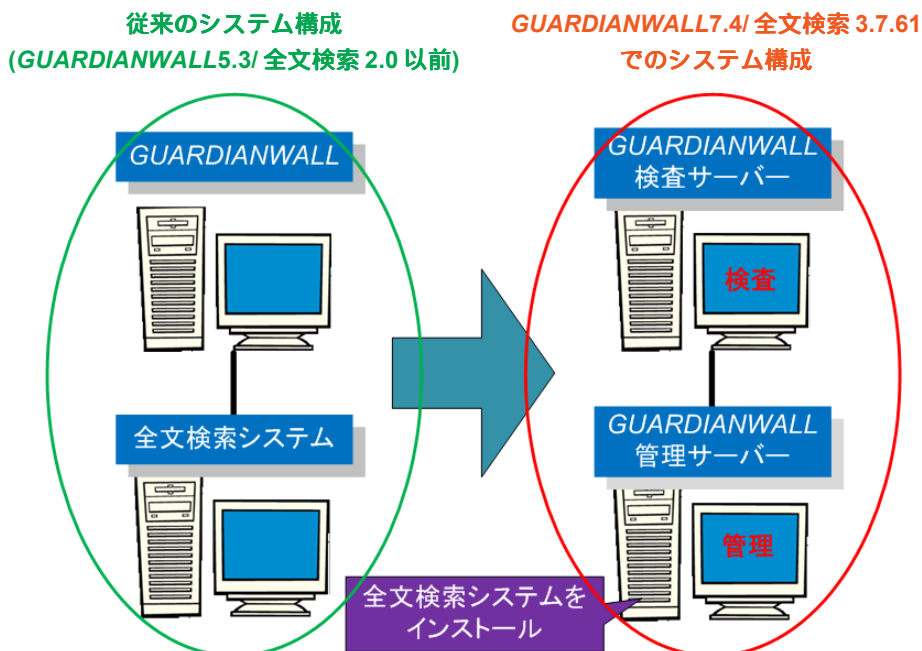
## システム構成について

全文検索システム Ver3.7.61 は、GUARDIANWALL Ver7.4 の管理サーバーが稼動するサーバーマシンにインストールします。すでに、Ver5.3 以前の GUARDIANWALL と Ver2.0 以前の全文検索システムをご利用のお客様におかれましては、まず全文検索システムを Ver3.7.61 へバージョンアップしてください。

なお、全文検索システム Ver3.7.61へのアップグレードインストール時に、インストールメニューにて、全文検索システムのみをアップグレードインストールで導入する他、全文検索システム Ver3.7.61とあわせて管理サーバーも同時にインストールすることが可能です。

続いて GUARDIANWALL を Ver7.4 へバージョンアップします。

本バージョンでは、ハードウェア構成は以下ようになります。



## 管理サーバーライセンスの登録

管理サーバー + 全文検索システムのサーバーマシンにおいては、管理サーバー、全文検索システムそれぞれのライセンスキーが必要です。

管理サーバー + 全文検索システム 3.7.61 をアップグレードインストールにて導入しますと、全文検索システムのライセンスキーは既存の ( Ver2.0 までの ) ライセンスキーが継承、セットされますが、管理サーバーのライセンスキーは未登録状態となっています。

よって、管理サーバーのライセンスキーを、新たに WEB 管理画面から登録する必要があります。

管理サーバーのライセンスキー取得には、対象サーバーマシンの HOSTID を弊社までご連絡ください。折り返し、ライセンスキーをお送りします。

## 0 アップデートの前に

アップデートを行う前に、実行中の検索処理が無いかどうかをご確認ください。

実行中の検索処理がある場合は、検索処理の完了を待つか、検索処理を停止してください。

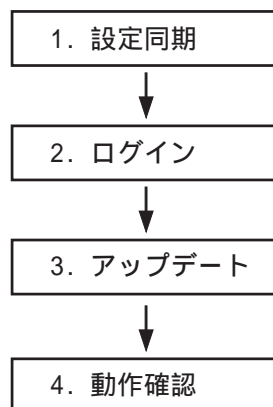
また、現在の Ver が 2.0 の場合、全文検索インデックスの作成処理が実行中でないかどうかもご確認ください。

全文検索インデックスが作成中であれば、インデックス作成処理が完了するのをお待ちください。

アップデートを実施しますと、既存のバージョンに上書きインストールされますので、既存のバージョンのシステムをアンインストールする必要はありません。

既存の各種設定やメールデータは、アップデート後もそのまま保持されます。

既存システムの検索処理、インデックス作成処理が停止したら、以下の手順に従ってシステムアップデートを行ってください。



## 1 設定同期

現在ご利用中の GUARDIANWALL にて設定されている各ポリシールール を、全文検索システムにコピーし、GUARDIANWALL と全文検索システムの設定内容を同期させます。

対象の設定項目は、「検査・配送ルール」「MIME タイプ検査条件」「キーワード検査条件」「グループ管理」

手順は以下のとおりです。

まず、GUARDIANWALL サーバーの WEB 管理画面にアクセスし、各ポリシー設定画面にて、ダウンロードを実施します。

次に、全文検索システムサーバー内の GUARDIANWALL 設定画面にアクセスし、先ほどダウンロードしたファイルをアップロード登録します。

## 2 ログイン

全文検索システムのサーバーマシンに対し、コンソールにて root でログインします。

全文検索システム Ver3.7.61 の CD-ROM をドライブにセットし、マウントします。

通常は CD-ROM をドライブにセットすると自動的に /cdrom 以下にマウントされます。

CD-ROM のディレクトリに移動し、guardiansuite#2 ディレクトリ以下の inst コマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/guardiansuites#2/  
# sh inst
```

上記ディレクトリ /cdrom/guardiansuites#2/ は一例ですので、お使いの環境に合わせて変更してください。

お客様のプラットフォームに合った、パッケージが自動的に選択され、次節「3 アップデート」に移ります。

### 3 アップデート

#### 3-1 製品の選択

ここから、GUARDIANSUITE 共通インストーラによる、アップデートとなります。  
(LANG ja での画面です。)

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE 全文検索システム V3.7</u>
2. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5 plus 全文検索システム V3.7</u>
Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)
入力:

インストーラが起動し、インストール可能なアプリケーションが表示されます。  
本バージョンより、全文検索システムが稼動するサーバーマシンには、管理サーバー  
パッケージもインストールする必要があります。  
したがって、「2. GUARDIANSUITE(管理サーバー) V4.5 plus 全文検索システム V3.7」  
を選択します。

## 3-2 全文検索システムのインストールメニュー

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>GUARDIANSUITE (管理サーバー) と全文検索システムのインストール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>新規インストール</u></li> <li>2. <u>アップグレードインストール</u></li> <li>3. <u>アンインストール</u></li> <li>B. <u>戻る</u></li> </ol> <p>実行したい項目の番号を入力してください。(規定値:[B]ack)</p> <p>入力:</p>
--

「2. アップグレードインストール」を選択します。

## 3-3 インストール先ディレクトリ容量確認

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>アップグレードインストール</p> <p><u>インストールに必要なディレクトリ情報...</u></p> <p>ディレクトリ名 : /opt          必須ディスク容量 : 1024MB          現在の空き容量 : 1849MB</p> <p>このディレクトリにパッケージがインストールされます。</p> <p><u>システム環境をチェックしています...</u></p> <p>続行しますか? [y/n]</p>
---

アップグレードインストールが選択され、全文検索システムがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。  
 内容を確認後、「y」を入力します。



### 3-4 インストール一時ディレクトリ容量確認

---

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

---

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /var  
 必須ディスク容量 : 100MB  
 推奨ディスク容量 : 1024MB  
 現在の空き容量 : 1849MB

このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています ...

---

続行しますか？ [y/n]

全文検索システムのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。  
 内容を確認後、「y」を入力します。

/var は、インストール時の一時領域として使用されます。

### 3-5 パッケージ確認

---

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

---

アップグレードインストール

以下のパッケージがインストールされます。

GRDNcore : GUARDIANSUTE Core Package V4.5.00-000  
 GRDNlocal : GUARDIANSUTE Tools Package V2.1.03-000  
 GRDNadmin : GUARDIANSUTE Admin Package V4.5.00-000  
 GRDNdb : GUARDIANSUTE Database Package V8.1.20-000  
 GRDNsrch : GUARDIANWALL Search Option Package V3.7.61-000

---

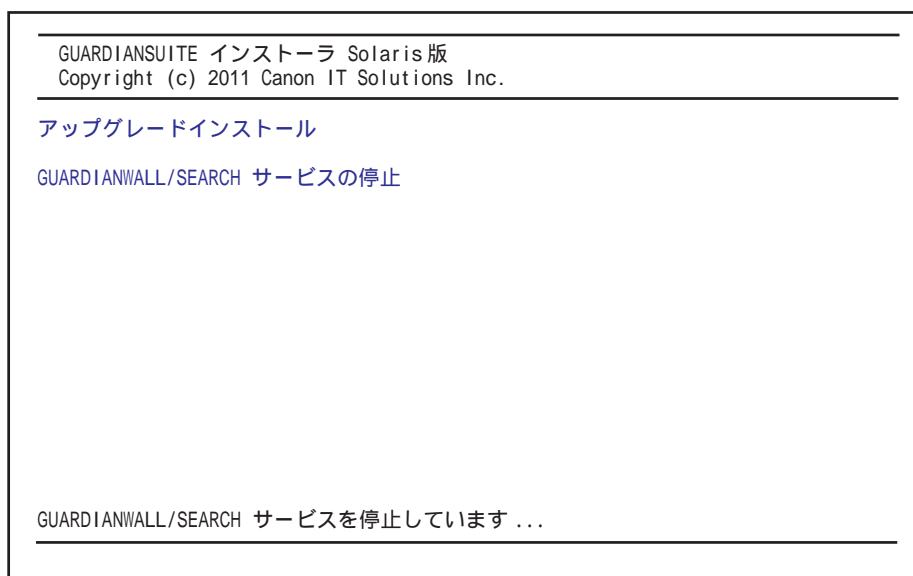
インストールを続行しますか？ [y/n]

アップグレードインストールによって、更新、インストールされるパッケージ一覧が表示されます。

内容を確認し、「y」を入力します。

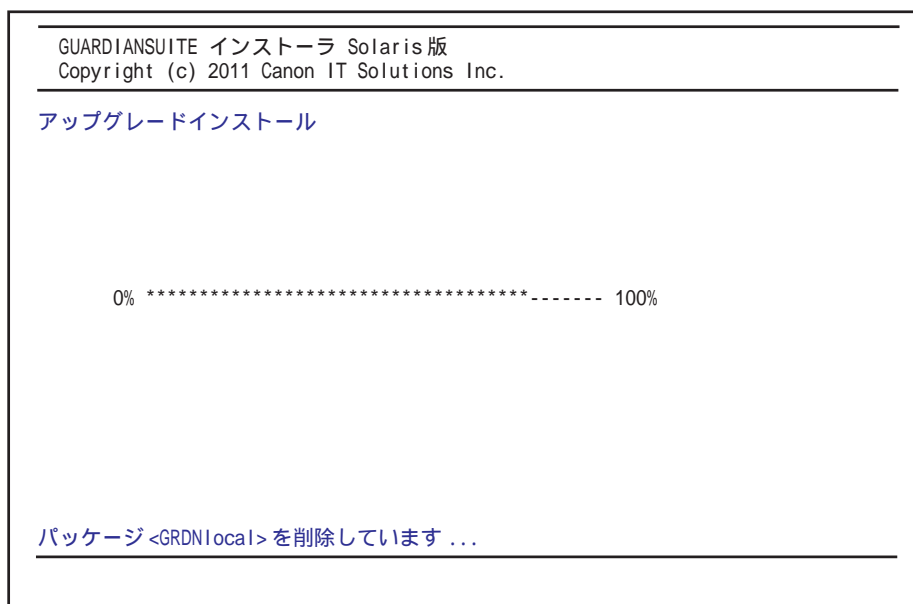
上記表示パッケージのバージョンは一例となります。

### 3-6 サービスの停止



ここで、全文検索システムのWEB管理画面のサービスが停止します。

### 3-7 パッケージの削除とインストール



まず旧バージョンのパッケージが削除され、続けて新バージョンのパッケージが導入されます。

更新されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

#### アップグレードインストール

0% \*\*\*\*\*----- 100%

パッケージ <GRDncore> をインストールしています ...

### 3-8 サービスの起動

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

#### アップグレードインストール

#### GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動

GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています ...

パッケージの導入が全て完了すると、上記のとおり GUARDIANSUITE 管理サーバーのサービスが起動します。

### 3-9 インストール完了

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>アップグレードインストール</p> <p>##### GUARDIANSUITE V4.5 のインストールは成功しました。 全文検索システム V3.7 のインストールは成功しました。 管理者ページの URL <a href="http://192.168.0.1:8080/login/">http://192.168.0.1:8080/login/</a> #####</p> <hr/> <p>何かキーを押してください... :</p>
--

サービスが起動すると、管理者ページの URL が表示されます。  
確認後、任意のキーを入力してください。  
(上記 URL は動作確認に使用しますので控えておいてください。)  
画面に表示されている URL は一例となります。

### 3-10 インストールメニューの終了

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>1. <u>GUARDIANSUITE 全文検索システム V3.7</u> 2. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5 plus 全文検索システム V3.7</u> Q. <u>終了</u></p> <hr/> <p>製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)</p> <p>入力:</p>
---

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

## 4 動作確認

インストール終了後、ウェブブラウザにて先ほど表示されたURLに接続し以下の項目をご確認ください。

- (1) GUARDIANSUITE 管理サーバーの WEB 管理画面へアクセスが可能なこと
- (2) 情報管理者アカウント (初期値: ユーザー名「admin」/パスワード「mgadm99」) でログインできること
- (3) 【共通】 - 「基本設定」 - 「全文検索設定」画面にて、ライセンス種類が「ライセンス登録済」となっていること

管理サーバーのライセンスキーはまだ登録されていませんので、【共通】-[基本設定]-[ライセンス]画面にて登録してください。

詳細については、『管理サーバー 導入の手引き ~ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通 ~』をご参照ください。

以上で、アップデート作業は終了です。

### <補足> 従来の全文検索システムの検索利用者アカウントの移行方法について

Ver2.0までの全文検索システムに存在した、「検索利用者」というアカウントレベルは、Ver3.0以降では存在しません。

したがって、これまでの「検索利用者」アカウントで、GUARDIANSUITE管理サーバーの WEB 管理画面にログインすることはできません。

以下のコマンドにて、これまでに登録されていた検索利用者アカウントを「情報管理者」または「部門情報管理者」に移行することが可能です。

```
/opt/Guardian/Admin/search/support/convert_srchmanager.pl
```

同コマンドの引数として、全文検索システムの設定 バックアップディレクトリを指定します。

バックアップディレクトリは、アップグレードインストール時に自動で作成されます。

また、このコマンドによって、「検索利用者」として登録されていたアカウントのパスワード、ユーザー権限、全文検索履歴が移行されます。

実行例)

```
# cd /opt/Guardian/Admin/search/support/
# ./convert_srchmanager.pl /opt/Guardian/backup/MGWallS-2.0.09
```

対話式コマンドなので、メッセージにしたがって「Y/N」または「1/2」を入力していきます。